

平成27年度事業評価報告書 (施設名 森林研修センター情報交流館)

項目	評価できる取り組み等	改善すべき課題
1 管理運営に関する評価	限られた職員体制で、施設の管理運営を適切に行い、またネットワーク団体やボランティア、学生、施設等と連携を図り、利用者サービスの向上に努めている。 補助金事業を活用し、里山林等のフィールド整備を行い、県民の安全な利用促進及び森林環境学習等で活用している。	災害時の緊急対応を想定した避難訓練等を、一般来館者も含めて行うことが必要である。 利用者サービス向上のために、設備の有り方や提供するコンテンツについて検討し、より良い学習の場の環境づくりが望まれる。
2 事業実施に関する評価	森林環境学習プログラムの充実を図り、学校等のニーズに応えるレベルの高い事業を行っている。 他の施設との連携による協働事業を行い、質の向上を図っている。	森林ボランティア指導者養成の成果が県内各地域の活動へと広がるような、機能強化に向けた検討が望まれる。
3 利用実績	来館者数は前年度より1,058人増の12,486人となった。 来館者数とは別に学校支援等による職員派遣事業等で3,257人の対応をした。	
4 収支の状況	補助金事業等の外部資金を積極的に活用し、財源の確保と事業等の充実が図られている。	
総合評価	B	①森林環境学習プログラムの充実を図り、学校等のニーズに応えるレベルの高い事業を行っている。 ②補助金事業等の外部資金を積極的に活用し、財源の確保と事業等の充実が図られている。 ③森林ボランティア指導者養成の成果が県内各地域の活動へと広がるような、機能強化に向けた検討が望まれる。 ④災害時の緊急対応を想定した避難訓練等を、一般来館者も含めて行うことが必要である。 ⑤利用者サービス向上のために、設備の有り方や提供するコンテンツについて検討し、より良い学習の場の環境づくりが望まれる。

- 【評価の基準】 A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力及び改善が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

業務の改善についての意見

改善を求める事項
①森林ボランティア指導者養成の成果が県内各地域の活動へと広がるような、機能強化に向けた検討が望まれる。 ②災害時の緊急対応を想定した避難訓練等を、一般来館者も含めて行うことが必要である。 ③利用者サービス向上のために、設備の有り方や提供するコンテンツについて検討し、より良い学習の場の環境づくりが望まれる。
今後、充実させて取り組むべき事項
①県内各地域における活動の支援となるような森林ボランティア養成機能の強化 ②利用者サービス向上のためのより良い学習の場の環境づくり